結城市で大地震を想定し防災訓練

城西病院 DMAT チームも参加

結城市の総合防災訓練が 11 月 30 日、結城市鹿窪の鹿窪運動公園を会場に行われました。訓練には城西病院の DMAT チームが参加し、消防や警察、防災組織、自衛隊、救助犬など市内のさまざまな防災団体やボランティアとともに真剣に訓練に取り組みました。

午前 9 時、関東地方で大地震が発生との想定で訓練が開始。鹿窪体育館を避難所と想定し、防災関連グッズの取り扱いや AED などの訓練が行われました。

引き続き、この地震によってマイクロバスと乗用車が衝突、また倒壊家屋で負傷者が出たとして、城西病院 DMAT に出動要請が出され、現場に向かいました。

交通事故現場では、消防隊員や女性消防団員たちにより、７人の負傷者が助け出され、現場に駆け付けた DMAT 隊員によってトリアージが行われました。軽いけがが 7 人で DMAT により応急処置が行われました。

乗用車に閉じ込められたドライバーは、消防隊員によって助け出され、DMAT 隊員らによる応急処置の後、DMAT 救急車で病院に搬送されました。

倒壊家屋では、救助犬による捜索で、閉じ込められている人がいることが判明。消防署の救急隊によって家屋から 1 人が助け出され、応急処置の後にすぐに病院に搬送されました。

訓練には大勢の市民が見学に訪れていました。刻々と状況が変わる中、関連団体によって、迅速に行われる訓練に見入っていました。

2025 年 12 月 1 日